

1) システムの名称 :

地域医療連携支援システム PrimeArch (プライムアーチ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

1 3. その他の診療施設業務系 (地域医療連携支援システム)

3) 特色 :

PrimeArchは、多施設の標準化ストレージをインターネット回線で連携することにより包括型地域医療を実現する、地域医療連携支援システムです。

■SS-MIX 標準化ストレージ、拡張ストレージをベースにデータ連携します。

- ・標準化ストレージに格納された患者情報、処方、検体検査結果の参照
- ・レポート等の拡張ファイル形式 (JPEG、PDF、Excel、Word 等) の保存・参照が可能
- ・オフラインによるアップロード機能を実装

■診療情報提供書 (紹介状)、診療レポート等の作成を支援します。

- ・診療情報提供書のほか、各種レポートの作成に対応
- ・オフライン施設向けとした、HL7 CDA R2 に準拠した診療情報提供書 CD 出力に標準対応
- ・他施設からの CD 取り込みに対応 (一般的なファイルにも対応)
- ・将来の電子処方箋 (法令化は未定) にも対応予定

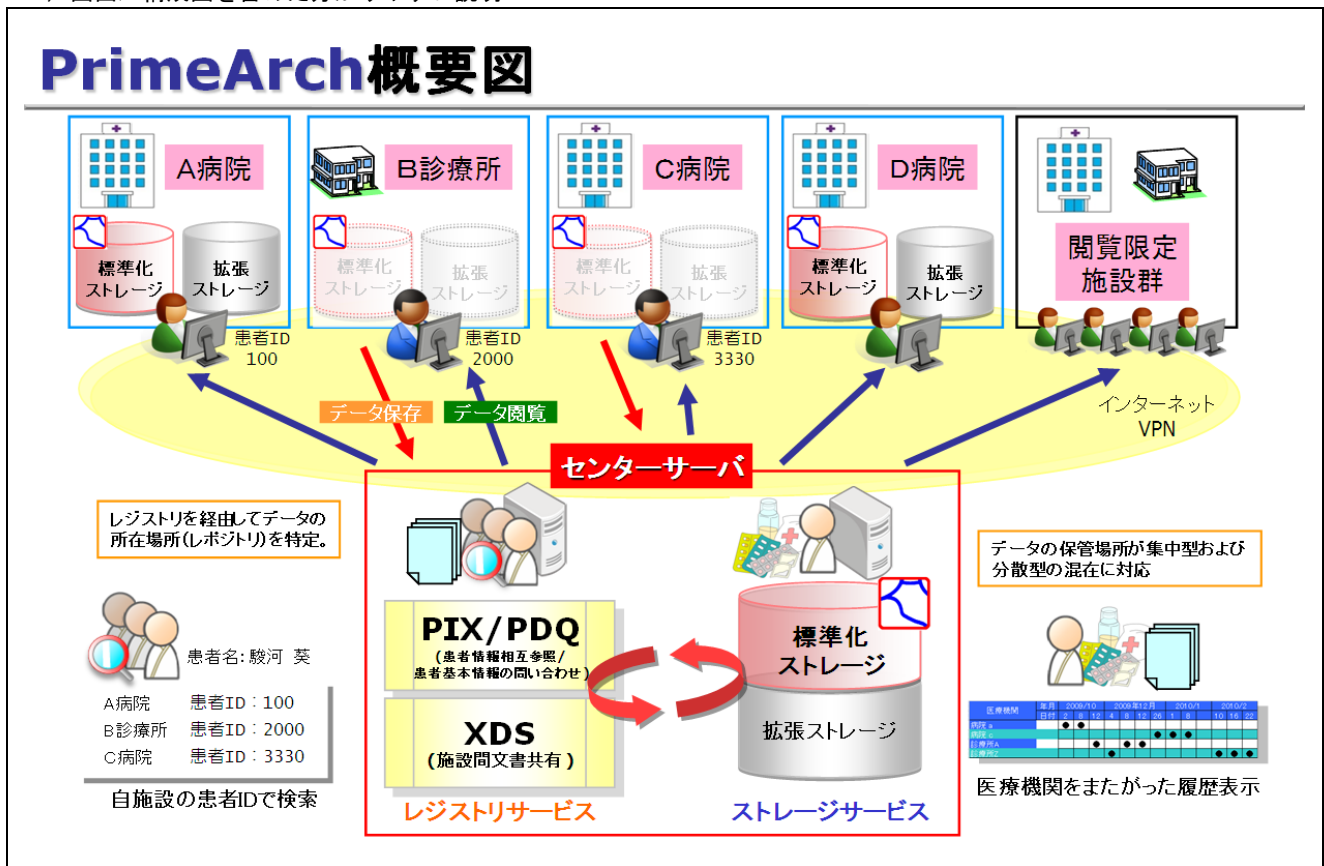
■多施設間のデータを収集し、対象患者の情報を表示します。

- ・データの保存場所は、「集中型」 & 「分散型」に対応、及びこれらの混在型にも対応
- ・各施設の検査画像 (DICOM) を参照
- ・時系列・登録データ種別マトリックスからワンクリック操作
- ・患者 ID の名寄せ検索 (PIX/PDQ)

■HPKI、患者認証用カードに対応することで、セキュリティ、プライバシーの保護を強化します。

■既設のインターネット回線も利用できることで、ネットワークコストを削減します。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- データ交換規約：HL7(Ver2.5)／患者情報(ADT)、入院退院情報(ADT)、処方・注射情報(OPM)、検査情報(OML)
- HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供) 準拠
- HS008 診療情報提供書(電子紹介状) 準拠
- HS011 医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
- 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合済み

6) 動作環境(ソフトの場合)、ハードスペック(ハードの場合)：

- 【サーバ構成】
オペレーティングシステム：Windows Server 2008(R)日本語版
追加コンポーネント：.NET Framework2.0
CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上(2 CPU を推奨)
メインメモリ：4GB 以上
- 【クライアント構成】
オペレーティングシステム：Windows(R) XP SP3 日本語版以降
Internet Explorer6 以上

7) 稼働までに必要な作業・期間：

既設 HIS における、標準化ストレージ・拡張ストレージ連携ご対応
既設 PACS における、DICOM Q/R 連携お打合せ・ご対応
インターネット回線開通、等
稼働までに通常 3~6 ヶ月程度必要となります。

8) 価格(桁数(日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い)：

7 桁(他システム連動・機器費は除く)、参加施設数により変動

9) 保守の内容と費用：

初期講習：オペレーション説明、マニュアル配布
初期導入保守：運用開始時立会い
利用保守料(回線使用料は別途)：病床 400 床未満の場合 月額 5 万円
病床 400 床以上の場合 月額 6 万円

※遠隔保守(必須)

※別途ハード保守あり

(※税別)

10) 問い合わせ先(販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元(もし別途あれば)：

問合せ先：株式会社 SBS 情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 3-1-1

TEL：054-283-1450；FAX：054-284-9182

医療事業本部 営業担当

Mail：iryo@sbs-infosys.co.jp